

被爆者の人生を支えたもの

—臨床心理士によるインタビューから— ISBN978-4-86327-460-0

被爆者の心の調査プロジェクト 編 2,500円+税

11月刊行
最新刊

臨床心理士による被爆者10名へのインタビューにより、各自の被爆時の状況とその後歩んだ人生、それぞれの人生観を調査。原爆投下が人々の生き方に及ぼした影響について探る。



はじめに 倉永恭子

「もう過去を言ってもしょうがない、前へ向いて行っただけよ」植村利昭さん(八十二歳)

「何のための人生だったのかと思って・・・」大草節郎さん(八十歳)

「安芸門徒として生きる」大谷満江さん(七十八歳)

「馬小屋で出会ったおばあさんの笑顔が忘れられない」岡田市恵さん(七十六歳)

「割と生きるということに執着心がないというか、たくさんの死体を見たせいかもしれません」加藤博道さん(七十五歳)

「もし母が生きていたら、親孝行をしてあげられたのに・・・」川口弘子さん(七十五歳)

「お父さんがいたらなあと今でも思うことがあります」佐藤利枝さん(八十一歳)

「家族に支えられてきたから、今日までであると思います」高橋 茂さん(七十九歳)

「前を見て歩かにな、後ろを向いたら、もうだめですけんねえ」高橋美行さん(七十六歳)

「原爆のことはしかたがない 生け花が私の使命」外谷昌子さん(八十二歳)

あとがき 一丸藤太郎

引用・参考文献

臨床心理士による被爆者の心の調査プロジェクト
メンバー紹介

被爆者の人生を支えたもの ISBN978-4-86327-460-0

—臨床心理士によるインタビューから—
被爆者の心の調査プロジェクト 編 2,500円+税

個人・書店様注文書

お名前	ご注文冊数	冊
ご住所(〒) お電話番号()		

【書店様】
ご注文の際には
溪水社宛に FAX
をお送り下さい。

FAX
082-246-7876

番線印

◆お問合せ 直接のご注文は



溪水社

広島市中区小町1-4 (〒730-0041) TEL (082) 246-7909
E-mail info@keisui.co.jp FAX (082) 246-7876

書籍の詳細情報はホームページで
URL: www.keisui.co.jp